

令和6年第2回琴浦大山警察署協議会開催状況

開催日時	令和6年6月17日(月)午後1時30分から午後3時まで	
開催場所	琴浦大山警察署	
出席者	委員 (定数6人)	永岡会長、山根副会長、入江委員、榎原委員、清水委員 以上5人
	警察	山本署長、中嶋管理官、西村留置管理課長、井上地域課長、 横山会計課長、松浦生活安全刑事課長、尾坂交通課長、警備課員、警務課員 以上9人
議 事 概 要		
<p>1 挨拶 会長及び警察署長が挨拶を行った。</p> <p>2 管内治安概況等説明 生活安全刑事課長、交通課長及び地域課長が、令和6年5月末現在における管内の治安概況について説明した。 委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：生活安全刑事課長から管内の刑法犯認知・検挙件数等の説明があったが、これらの中で、外国人による犯罪の発生や検挙はあるのか。 警察：当署管内では、外国人被疑者の検挙はない。 委員：今回、投資詐欺など、新たな手口の説明があった。警察では、寸劇等による広報もされているが、そのような詐欺の手口を分かりやすく紹介するような寸劇等もあるのか。 警察：寸劇には様々なバリエーションがあるので、今後も内容をアップデートしながら、投資詐欺などの手口についても検討したい。 委員：米子市内の交差点で、自転車に乗っていた学生を見掛けたが、皆がヘルメットを着用しており、良かったので、これを拡大してほしい。 警察：当署管内においても自転車利用時のヘルメット着用を広報しているので、引続き実施していく。 委員：これからは熱中症による山岳遭難が多発すると思うが、経口補水液のようなものを同時に配布してみてもどうか。 警察：昨年も熱中症対策水を配布しながら遭難防止広報を実施したが、本年度も経口補水液等の配布を含めた熱中症、脱水症予防の広報を実施していく予定である。 そのほか、地域課長が、境港のクルーズ船寄港に伴う大山遭難に係るインバウンド対策について、県の担当部局と連携を図り、遭難対策や言語対策等を行うことを説明した。</p> <p>3 持続可能な交通規制の推進 交通課長が、持続可能な交通規制の推進について、警察の取組を説明した。 委員からの主な意見については次のとおりであった。 委員：住民の方には、必要な説明をして理解を求めていくとのことで安心した。 今後、信号機の廃止が決まれば、一度、私たちもその現場や信号機を確認</p>		

したい。

警察：そのときには、現場視察を御提案させていただく。

4 ことぶき号（交通安全教育車）の視察、体験

交通課長が、ことぶき号の説明をした後、各委員が視察、体験をした。

委員から、自らの運転適性や判断能力等を確認するよい機会となったので、広く活用してほしいとの意見があった。

5 その他

次回協議会は、令和6年9月頃を開催する予定である。